

サイエンスセミナー「『明日は晴れ』のウラガワ」開催

6月18日(土)に天気予報をテーマにしたサイエンスセミナー(講演会)を開催しました。講師は、NHKで気象キャスターとして活躍中の土井邦裕さんです。土井さんは豊田市出身で、小さい頃から天気予報に興味を持っていた少年だったようです。講演は、誰かに伝えたいような天気の豆知識、雲の見方など空の観察が楽しくなる内容でした。途中で雲を作る実験や参加型のクイズもあり、あっという間の90分でした。最後は質疑応答の時間で「台風と低気圧のちがいは何？」などの質問が出ました。

参加者からは「とてもためになる話でおもしろかったです」「好きなことを職業にするすごさ大変さを感じました」など感想をいただきました。



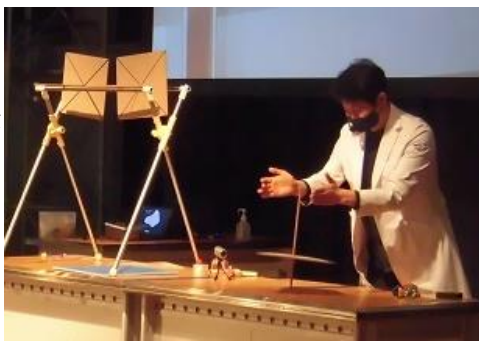
『回る・ころがる科学おもちゃの科学』

5月5日(木) スペシャルサイエンスショー

サイエンスレンジャーとして全国各地でサイエンスショーをさせてみる福井広和先生を講師にお迎えして、午前・午後の2回に分け開催し、午前の回に83人、午後の回に63人の参加がありました。

午前の回は「コマの科学」。「コマはなぜ丸いの？」の問いから始まり、正方形、長方形、四角形、三角形、不定形のコマが回るのか？Q&A形式で進められ、重心の探し方を学び、実際に板の重心に軸を差し、そのコマを回して確かめました。またペットボトルのキャップ2個と竹ひごでできる簡単なコマをその場で作り、早速、子どもたちはコマを床の上で回して楽しみました。

午後の回は「皿回しの科学」、「ガリガリプロペラの科学」の2部構成。ここでも、刻みをいれない簡単なガリガリプロペラの工作体験がありました。最後に、ビー玉を2個つなげたコマが渡され、このコマの重心はどこ？と帰宅後に探求してほしい、と宿題？出されました。



アストロクラブ中級 望遠鏡作りに挑戦!



6月21日(日)にアストロクラブ中級の第1回目を開催しました。アストロクラブ中級コースは、

全6回の活動を通して天文や宇宙のこと、望遠鏡の仕組みについて学びます。講師は天文アドバイザーの浅田英夫先生です。ユーモアを交えながら楽しく話をしてくれます。第1回目は、望遠鏡を製作しました。細かい作業に苦労することもありましたが、友達同士で助け合う場面もみられ、全員無事に完成させました。今後は自分で作った望遠鏡で月や惑星などを観望します。

★天文トピックス★ 夜空に輝く「かんむり座」の宝石

梅雨明けの空、頭の真上あたりに「かんむり座」があります。西にある「うしかい座」と東の「ヘルクレス座」にはさまれるようにひっそりと見える小さな星座です。

目立つ星と言えば2等星の「ゲンマ」くらいで、あとは4等星以下の暗い星ばかりです。ゲンマは『宝石』という意味があります。王冠についた宝石を表しているのでしょうか。

目印は、うしかい座の「アルクトゥルス」とこと座の「ベガ」という2つの明るい星。その間のあたりで暗い星をたどっていくと、7つの星がまるでネックレスのように丸くならんでいるのがわかります。その星ならびから日本では「くびかざり星」と呼んでいたところもあったようです。

この夏休み、星がよく見えるところへ行く機会がありましたら、夜空で輝く宝石を見つけて「かんむり座」をたどってみてくださいね。



7月中旬20時ごろ天頂付近
※ステラナビゲータより作成